



◇主な内容

6月定例会（平成23年6月10日～27日）

- こんなことを決めました
議案のなかみ 2P～
- 一般質問（12人が登壇） 8P～
- あん質問などえーんなった？ 14P
- 市民の声 15P
- 議会だよりクイズ 16P

プール最高！

楽しい！

気持ちいい～！

那賀小学校1～2年生

※H22年度一般会計補正予算(専決処分)承認(賛成多数)

もうちょっとくわしめう

Q ゴルフ場利用税交付金について、入場者の数と交付金はいくら。

A 利用者8,102人、交付金は257万7千円。

Q ふるさと応援寄付金の寄付者数と金額は。

A 寄付者数88名、寄付金額436万5千円。

Q アワビ種苗の売り払い収入880万円が減額となった理由は。

A 急激な海水温の変動が主な原因と思われる。そのため生産量40万個に対して48%の19万5000個であった。海水温度調節器は設置していない。

ちよつとしん 何年も前から海水温が原因で被害があるのだから、海水温調節器など早めに設置して対応していただきたい。



アワビ種苗センターで育つ稚貝

6月議会 こんなことを決めました。

Q 市営住宅の修繕料190万円の予算は減額とせず、修繕すべき所があったのではないかと。平成17年の福岡西方沖地震での被害修復もできておらず、また老朽化による雨漏り等の改修もまだの住宅がある。

A 配慮がたりなかった。今後は努力する。

※H22年度繰越明許費計算書 報告

○一般会計予算の繰越額 27億2,759万2,139円

・総務費(きめ細かな交付金事業費等)	567,551,791円
・衛生費(廃棄物処理施設整備費)	1,931,861,000円
・農林水産業費(ふるさと農道整備事業費等)	22,622,440円
・商工費(壱岐島荘改修工事設計業務費)	3,990,000円
・土木費(道路橋りょう新設改良事業費)	175,516,458円
・教育費(筒城公民館改修工事費等)	21,779,200円
・災害復旧費(公共土木施設災害復旧費)	4,271,250円

○簡易水道事業予算の繰越額	121万8千円
○特養ホーム事業予算の繰越額	2千648万円
○水道事業予算の繰越額	4千585万6千円

※市長の給与の特例に関する条例の一部改正 否決(全員反対)

4月26日に郷ノ浦庁舎で発生した火災に伴い、行政責任を明確にするため市長の現行給与を1ヵ月間10%減額するもの。

もうちょっとくわしめう

Q 庁舎の火災に関する管理規定の見直しは。

A 全ての庁舎について、施設管理の詳細を庁舎管理要領と定め、全職員に周知徹底を図る。

※市民病院及びかたばる病院診療費の一部改正 可決(全員一致)

市民病院「分娩料」は県内医療機関と比較して格差が大きいと、基本料金を引き上げ時間外割増料金を設定。

※へき地診療所条例の制定 可決(全員一致)

市内の無医地区(郷ノ浦町大島・長島・原島)の三島地区住民の医療を確保し、健康保持推進のため「壱岐市へき地診療所」を設置し指定管理とする。(年内施行)

名称 壱岐市三島診療所
場所 郷ノ浦町大島554番地2

※学校給食センター等設置条例の制定 可決(全員一致)

市内各町給食センターを廃止し、新たに学校(小中学校)給食センター等を設置。(7月31日施行)

- ・名称 壱岐市学校給食センター
場所 勝本町立石東触36番地1
- ・名称 原島学校給食調理場
場所 郷ノ浦町原島305番地

※八幡浦地区特定漁港整備工事請負契約の締結 可決(全員一致)

八幡浦地区の外防波堤工事(平成23年度工事分)延長30m
契約の相手方 株式会社 岡本組
契約金額 4億2千148万7千850円

※学校給食センター機械及び排水設備工事請負契約金額の変更 可決(全員一致)

排水設備工事に係る貯水タンク(40トン)と薬注機(塩素補充機)を追加施工するため、契約金額に1千169万700円を追加。



ちよつとしん この追加は施設整備の当初契約からわかっていたのでは。どの工事にしても契約変更が多すぎるが、施工者との綿密な打ち合わせを。

どえーな予算ば追加すると？



※ H23年度一般会計補正予算第1号専決処分 承認（全員一致）

イルカ購入経費 672万円



イルカ搬入の様子

もうちょっとくわしめう

- Q** イルカ1頭あたりの購入価格は。
- A** オス・メス共に1頭100万円で、購入までの飼育経費が加算される。税込でオス189万円を1頭とメス1頭210万円を2頭、今回購入している。現在イルカパークではオス1頭とメス5頭の計6頭となった。
- Q** 今後更にイルカを購入する予定はあるか。
- A** 現状でオスが1頭なので、あと1頭オスを導入したい状況にある。

※ H23年度一般会計補正予算第2号専決処分 承認（全員一致）

被災地ボランティア派遣経費 458万8千円

東日本大震災による被災地支援のための、職員・ボランティア派遣の経費及び、被災者受け入れ経費。

※ H23年度一般会計補正予算第3号 可決（賛成多数）

三島診療所施設改修工事費 322万円

無医地区であった郷ノ浦町三島に、旧郷ノ浦町漁協大島事務所の建物を購入整備して診療所を設置する。長年の懸案であっただけに、画期的な大きな一歩を踏み出す事となる。

もうちょっとくわしめう

- Q** 大島に設置される三島診療所の開設はいつ頃になるか。
- A** 施設の改修をして、指定管理の完了を遅くとも9月定例会までにとっている。



三島診療所に改修される建物（郷ノ浦漁協大島支所）

国民宿舎「壱岐島荘」耐震補強工事及びリニューアル工事 6千860万4千円

老朽化した施設を耐震補強して室内・浴場の改修とトイレの水洗化等、工事期間を1年要する大がかりなもの。風光明媚な立地条件を活かした当施設の観光客の集客に大きな期待を寄せている。

もうちょっとくわしめう

- Q** 改装の内容をもう少し詳しくと、改装期間中の営業はどうするか。
- A** 耐震補強、排煙設備、大浴場の展望風呂、エレベータの設置等であり、工事期間中は休館とする。

24時間対応定期巡回・随時対応型サービス事業委託費 2千3万円

平成24年度から介護保険事業の新サービスとして開始される国のモデル事業で、居宅介護者を対象に、24時間の定期巡回訪問サービス事業による随時の対応サービスを実施する事業を民間に委託する。

情報通信基盤整備工事費 4千815万5千円

ケーブル工事の国の補助事業締め切り後、市が起債事業として整備するもので宅内工事の追加に伴うものと番組編集機等備品購入費。

もうちょっとくわしめう

- Q** 告知放送のうち、自治公民館の加入件数は。
- A** 市内242の自治会のうち、123の公民館と老人憩いの家が35件、計158件の申込がある。8月頃までにすべての設置を完了させたい。

板浦地区(郷ノ浦町渡良東)船だまり進入道路用地購入 392万8千円

係船場までの進入路の一部に私有地があり、通行に支障があるとして市の公有財産として購入するため漁港管理費として計上された。



反対意見 漁業者の高齢化に伴い漁船も減少し、市管理の係船場にはゆとりがあり、板浦地区については近くに麦谷・柏・和歌漁港がある。長年利用している所を離れたくないとの事だがそれは理由にはならない。

※H23年度一般会計補正予算第4号 可決(全員一致)

情報通信基盤整備工事費 2千530万円

6月27日時点での加入件数は

告知放送 …… 計12,895件
光テレビ …… 計 8,450件
インターネット …… 計 3,030件
IP電話 …… 計 1,651件



焼却灰保管庫(芦辺町住吉後触)

焼却灰保管庫建屋設置工事費

2千42万5千円

住吉後触地内に旧芦辺町時代に設置した焼却灰保管庫が、風雪により老朽化し外部に漏出の恐れがあることから、テント倉庫構造の建屋で保護し環境保全協定を順守することが目的。

※特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算 否決(全員反対)

特養ホーム建設事業費 7千706万1千円

特養ホーム建設は、現施設の海側埋立地に建設するとして測量・地質調査、建築・土木設計も終わり、本年度の当初予算で11億5千万円程の建築予算が成立していた。しかし、先の東日本大震災による甚大な被害を受けて、地震による液状化現象に対する不安と津波被害による安全性が確保できるか等、専門家に調査依頼した結果は「過去の老岐対馬地震、福岡西方沖地震を考慮すれば再考すべき。」との結論であった。

従って、現時点では施設建設場所は未定となった。また、療養病床数の決定も流動的であり、この予算を容認することはできない。



本年度建設予定であった海沿いの埋立地(勝本町湯本)

もうちょっとくわしめう

Q この地質調査、設計業務、測量業務等の予算化をされている場所は。

A 現時点で候補地は決められない状況である。

Q 決まっていなくて予算を立てるといふのは不審である。もしそこに決まらなかったら無駄遣いになるわけですね。

A 計画を見直すこととなり白紙状態ではあるが、できるだけ早く完成させるため予算を提案した。

6月定例会 採決状況(全員一致以外のもの)

区 分	結 果	賛 成	反 対	久保田	呼子	音 嶋	町田光	深 見	町田正	今 西	市山和	田 原	豊 坂	中 村	鵜 瀬	中 田	榊 原	久 間	大久保	瀬戸口	市山繁	小金丸	牧 永
議案2	承認	18	1	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案13	可決	14	5	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	議長
議案18	否決	0	19	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長
議案20	否決	0	19	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長
請願1	不採択	3	16	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	議長
陳情1	不採択	0	19	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長
H21請願1号	不採択	2	17	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	議長

↳5ページ参照

○・・・賛成 ×・・・反対

6月議会で決めたこと 議案と審議結果一覧表

区 分	議 案 内 容	付託委員会	本会議採決		
議案 1	国民健康保険税条例の一部改正についての専決処分		6.17	全員一致	承認
議案 2	22年度一般会計補正予算(第7号)についての専決処分		6.17	賛成多数	承認
議案 3	22年度介護保険事業特別会計補正予算(第4号)についての専決処分		6.17	全員一致	承認
議案 4	22年度簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)についての専決処分		6.17	全員一致	承認
議案 5	22年度下水道事業特別会計補正予算(第5号)についての専決処分		6.17	全員一致	承認
議案 6	22年度三島航路事業特別会計補正予算(第3号)についての専決処分		6.17	全員一致	承認
議案 7	22年度吉崎市一般会計予算の繰越		6.17		報告
議案 8	22年度簡易水道事業特別会計予算の繰越		6.17		報告
議案 9	22年度特別養護老人ホーム事業特別会計予算の繰越		6.17		報告
議案 10	22年度水道事業会計予算の繰越		6.17		報告
議案 11	23年度一般会計補正予算(第1号)についての専決処分		6.17	全員一致	承認
議案 12	23年度一般会計補正予算(第2号)についての専決処分		6.17	全員一致	承認
議案 13	23年度吉崎市一般会計補正予算(第3号)	予算特別	6.27	賛成多数	可決
議案 14	23年度吉崎市一般会計補正予算(第4号) 追加議案		6.27	全員一致	可決
議案 15	23年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	厚生	6.27	全員一致	可決
議案 16	23年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	産業建設	6.27	全員一致	可決
議案 17	23年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)	産業建設	6.27	全員一致	可決
議案 18	23年度特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第1号)	厚生	6.27	全員反対	否決
議案 19	県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少	総務文教	6.27	全員一致	可決
議案 20	市長等の給与の特例に関する条例の一部改正	総務文教	6.27	全員反対	否決
議案 21	市税条例の一部改正	総務文教	6.27	全員一致	可決
議案 22	市民病院及びかたばる病院診療費、使用料及び手数料徴収条例の一部改正	厚生	6.27	全員一致	可決
議案 23	学校給食センター等設置条例の制定	総務文教	6.27	全員一致	可決
議案 24	あらたに生じた土地の確認及び字の区域変更	産業建設	6.27	全員一致	可決
議案 25	あらたに生じた土地の確認及び字の区域変更	産業建設	6.27	全員一致	可決
議案 26	八幡浦地区特定漁港整備工事請負契約の締結	産業建設	6.27	全員一致	可決
議案 27	学校給食センター機械及び排水設備工事請負契約の変更	総務文教	6.27	全員一致	可決
議案 28	へき地診療所条例の制定	厚生	6.27	全員一致	可決
議案 29	人権擁護委員候補者の推薦 「勝本町 田口チズ子さんを再選」		6.27	全員一致	了承
議案 30	人権擁護委員候補者の推薦 「石田町 野本 肇さんを再選」		6.27	全員一致	了承
議員発議 1	指定外来種等による生態系等に係る被害の防止に関する条例の制定	産業建設	6.27	継続審査	
議員発議 2	吉崎市議会委員会条例の一部改正について		6.27	全員一致	可決
請願 1	吉崎市特別養護老人ホーム建設予定地に関する請願	厚生	6.27	反対多数	不採択
陳情 1	安心でおいしい主食を保育所の3歳児・4歳児・5歳児に提供することに関する陳情	厚生	6.27	全員反対	不採択
H21請願 1号	吉崎市民病院に関する請願	厚生	6.27	反対多数	不採択

専決処分とは、
議会で決定しな
ければならない
事柄を市長が先
に処理して、後
で議会の承認を
得ること。

繰越明許費計算書とは、
年度内で使えなかった
予算を、きちんと精査し
て次年度に繰り越すた
めの計算書を作り、議会
に報告するもの。

委員会レポート

予算特別委員会

委員長：市山 繁
副委員長：音嶋 正吾
委員：全議員
(議長・オブザーバー)

定例会付託議案

平成23年度一般会計
補正予算第3号、第4
号の審査を行った。

※補正予算第3号・可
決

漁港管理費の公有財産購入費には、私有地を通行しなければ船舶係留ができない状況について、
・私有地を通行しないで係船施設の移設を求める意見や、経費が多額となっても係船施設

を土地購入によらない方法で検討すべきとの意見。
・今後の市の事業推進に影響を与えることがあつてはならず、行政として筋が通らないものを購入すべきではないとの意見。
・長年現地を使用している地元公民館や船主会から、市に対して幾度の陳情書の提出がなされている事等を重く受け止めるべきである。
など賛否の意見が出されたが、賛成多数で可決とした。

備事業（ケーブルテレビ事業）の2千530万円の追加補正である。
事業事務処理の精度を高め、職員のガバナンス（統治）に関する厳しい意見が議員から出され、住民への行政サービスの向上に資することを厳しく求めた上で可決とした。

※補正予算
第4号・可
決

本来、補正予算第3号に計上すべきものが追加提案された。情報通信基盤整



渡良東触の板浦船だまり

総務文教常任委員会

委員長：町田 光浩
副委員長：市山 和幸
委員：市山 繁、中田 恭一
深見 義輝、音嶋 正吾

定例会付託議案

議案5件の付託を受け、審査の結果、4議案を可決、1議案を否決とした。

※市長の給与の特例に関する条例の一部改正・否決

〔否決理由〕

市長が行政責任を明確にするための措置をとるのは当然のことであるが、管理責任者や使用者等の責任の割合も明確にすべきである

と考える。

また、

事件後に

とられた

関連する

庁舎使用

の対応に

も問題点

が見受け

られ、そ

れらの対

応を適正

にまずは

行うべき

であり、

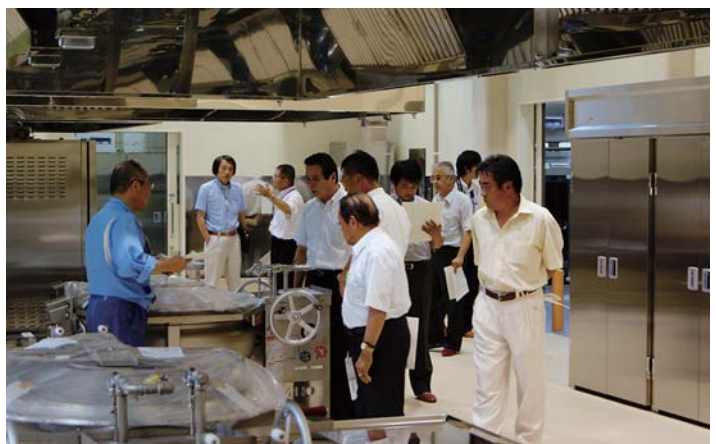
安易に市

長の減給のみで処理すべきではないと判断し否決とした。

※学校給食センターの工事請負契約の変更・可決

この変更は施設整備の当初から予測できないことではなかったと思われる。この件に限らず、こういった工事契約の変更の議案が少なからず提出

されることのできる。今後は是非こういう変更がないように、当初から予測できるものはきちんと設計者、そして施工者と打ち合わせを重ねて施工に当たっていただきたい。



完成間近の給食センター（勝本町亀石）

厚生常任委員会

委員長：町田 正一

副委員長：今西 菊乃

委員：小金丸益明、榊原 伸

中村出征雄、豊坂 敏文

定例会付託議案

議案4件と請願1件、陳情1件の付託を受け、議案1件を否決、請願・陳情それぞれ不採択とした。

また、平成21年12月議会で付託されていた請願を継続審査としてきたが、今回不採択とした。

※特別養護老人ホーム特別会計補正予算・否決
〔否決理由〕

特養ホーム新築用地の地質調査等、建設事業費として7千700万円が計上された。特養ホームの移転新築が急がれる理由として、施設

内部にスプリングクラーの設置が義務づけられた事が上げられていたが、簡易方式の現施設での対応で可能であるために、建設場所が確定していない段階での予算は認める事はできないとして否決。

※特別養護老人ホーム建設予定地に関する請願・否決

〔否決理由〕

鯨伏地区の住民代表から提出された、「旧ヨーガの里」への建設は費用面等から認める事は困難であるため不採択とした。しかし、これまでの特養の建設・維持については地元の多大なる協力があつたものである。市側も同地区内の別の候補地をあげて交渉する予定のため、今後とも鯨伏地区の皆様にはご協力をお願いしたい。



特養ホーム建設候補地として要望のある 旧 ヨーガの里

※安心でおいしい主食を保育所の3歳4歳5歳児に提供する陳情・不採択

〔不採択理由〕

国の方針が幼保一元化に向け取り組みがなされている現時点では採択できないと判断した。

※市民病院に関する請願・不採択

〔不採択理由〕

経営形態について市側も現在検討中である事から不採択とした。

産業建設常任委員会

委員長：鵜瀬 和博

副委員長：久間 進

委員：瀬戸口和幸、大久保洪昭

田原 輝男、呼子 好

久保田恒憲

定例会付託議案

議案5件、発議1件の付託を受け、採決の結果、全議案可決、発議については、継続審査とした。

※議員発議 指定外来種等による生態系等に係る被害の防止に関する条例制定・継続審査

カラス、リスなどの野生鳥獣による農作物への被害は、平成22年度は約700万円。

〔駆除実績〕

①カラス 平成16年～22年度まで19千羽。

②タイワンリス 平成14年～22年度まで39千尾。

今後とも国の「特定外来種による生態系等に係る被害防止に関する法律」第11条に基づき、平成23年4月1日から平成33年3月31日まで防除出来るようになっていく。

③イノシシ 昨年の上陸情報後、個体の確認に至っていない。

④シカ 勝本町若宮島に生息し、繁殖・増加したため今年度に捕獲・駆除予定。

さらなる調査研究が必要ため継続審査とする。

〔現地踏査〕

（国民宿舎 壱岐島荘リニューアル計画）

壱岐島荘の宿泊利用は7月23日



8月から休館し改修工事がはじまる国民宿舎・壱岐島荘

まで、入湯利用は7月末をもって休館。その後、1年ほどかけて改修され、来年秋ごろリニューアルオープン予定。主な計画としては、建物の耐震化と浴場は家族風呂に加え、眺望大浴場。エレベーターを配備し、高齢者などに配慮した施設に生まれ変わる。

呼び

好議員



Q 大丈夫か玄海原発

①安全対策の確保情報の提供、住民説明会の開催を。

②市民の不安払拭、安全の観点からモニタリング（観察記録）の設置。

③避難指示のマニュアル、ハザードマップ（災害予測地図）の作成は。

④大災害時の非常用食品、生活用品の毛布等備蓄、



九州電力による玄海原発説明会（6月24日市議会議場）

A 強く要望している

市長

①十分な説明責任及び対策を果たすべきと強く申し出ている。

②九州電力に対しモニタリング設置を要望した。

③EPZ（緊急時計画区域）拡大の働きかけ、市防災対策会議の設置、非難、収容体制の整備を優先して行う。

④市独自の備蓄はしていない。

Q 特養ホーム建設地の見直し

①老岐市福祉施設検討委員会の答申地の反対理由。

②市長は増床・施設の分散化を検討すべきとの考えであるが、増床数と入所待機者の数は。

③旧ヨーガの里跡地に特養ホーム建

A 分散化を検討

市長

①旧ヨーガの里跡地に特養ホーム建

保管の状況は。

設を反対する決議文が地元公民館より提出され、騒音・排水・取付道路整備、現在地周辺での建設を要望された。

②県の参酌基準（介護施設等の総量規制）撤廃で増床が可能になった。特養ホーム入所待機者は、市施設に50人、民間に80人である。

Q 次期市長選出馬は

①来年4月の市長選への立候補について、再選を目指して立候補の決意は。

②マニフェストの検証で、私は必ずやります、改革断行の市民病院改革、税金の無駄遣い、し尿処理計画見直しの実績は。

A 立候補表明

市長

①引き続き本市発展と、市民皆様の福祉の向上のため、市政を任せて頂きたい。

②市民病院改革にはほど遠い。無駄遣いストッパーで予算の一割圧縮。19施設を指定管理者に指定。

音嶋

正吾議員



Q 玄海原発の安全性

①市長の関係機関への安全対策強化に対する働きかけについての見解を。

②玄海原発が可視出来る本市に対する、国、九州電力の対応についての見解と、市民への説明責任

についての取組みは。
③原発立地自治体には莫大な原発立地地域交付金が交付されている。この現実をどう考えるか。

A 関係機関に働きかける

市長

①国、県、九電に対してEPZの現行基準を10kmから30km圏内に拡大するよう佐賀県、福岡県、関係自治体と連携して求めていく。

②原発稼働に対して異議申し立て出来ないもどかしさがある。福島原発の惨状を直視して、引き続き関係機関に要望する。

③原発立地地域交付金は「麻薬である」との指摘であるが、仮に本市が原発の候補地になった場合でも、市民の命、財産と引き換えに、財源を受け入れる事は出来ないと考えている。



玄海原子力発電所（佐賀県） 写真：九州電力提供

Q 安全安心な島づくり

①本市は離島であり甚大な災害が発生した場合、孤立状態に陥ることが想定される。防災計画の具像についての見解を。

A 環境教育検討する

市長

②環境教育の一環として、統合した中学校に太陽光発電施設の設置を検討してはいかがか。

③循環型島づくり宣言の一環としての、戦略的取り組みについての見解を。

A 環境教育検討する

市長

①今後の防災計画策定で十分考慮したい。

②施設の耐震化を最優先に取組み、環境教育の必要性の観点から国の補助事業等考慮して研究していきたい。

③地球温暖化等々による、激甚災害が頻発している中で、クリーンエネルギー施策推進の必要性を痛感する。

環境教育の推進は、喫緊の課題と位置付けている。

環境教育の推進は、喫緊の課題と位置付けている。

久保田恒憲 議員



省エネ・節電は、広報等を通じて市民に協力の要請をしている。市も職員のクールビズ、昼休みの消灯、芦辺支所はゴーヤによる緑のカーテンを実施している。

Q 市の節電対策は

東日本大震災による原発事故で節電が社会問題となっている中、杵岐市の節電対策を問う。

A 市民に周知を図る

市長

Q 支援活動報告会の検証

復興支援活動の報告会への出席が少なかったが、その理由を尋ねる。

A 集客の難しさで痛感

市長・教育長

防災無線や告知機で放送したが、周知期間も短く、人集めの難しさを感じた。今回の教訓を参考に真剣に取り組む。

Q 公園の活用を

元の辻一 支国王都復元公園は、開放された

「許可無く自由に入園できます。」—支国王都復元公園

公園として市民に理解されていない。利用・活用増進策を尋ねる。

A 許可なく入園可能

教育長

公民館の回覧等で周知、一支国のクニのまつり、タミのマツリや一般的なイベントと大きく3つに分けて実施しており、よりよい遺跡公園を目指します。

Q 人気あるテレビ制作を

同じ番組の繰り返しが多く面白くない。取材スタッフが少ないので他のテレビ取材者との協力、連携が必要ではないか等の不満と不安の声が寄せられる。早急に解決策を。

A 市民参加のテレビに

市長

6月から番組構成を大幅に改め、一週間から3日の番組編成にする。島内イベントや市民が参加する番組を制作して皆様に親しまれる放送局を目指す。

榊原 伸 議員



Q 病院を無くすな

現在のままでは病院経営は危うい。

①医局、事務方、看護師を含めた現場との協議をもっとすべきではないか。
②本市出身の奨学生医師が、旧公立病院の時代か

ら杵岐に残っていないのはなぜか。

③副市長が病院部長を兼務している。どちらの仕事も激務と聞いているが機能しているのか。

A 協議不足認める

市長

①医局等との話し合いが不足していたと思う。今は素直に話し合いをしていく。

②待遇だけの問題でなく、医療技術の取得の環境問題もあるのではないか。
③病院事業のトップとして、職責を充分果たしていると思う。

Q どこへ行く特養ホーム

計画を進めた埋立地は設計もできている。地震による液状化対策だけであるなら、今定例会に計上された7千万円の予算があれば実行できるのではないか。

A 白紙にもどす

市長

今、計画している場所は白紙として、増床・分散も視野に入れて計画を進めたい。

Q もっと有効活用を

スクールバスのバス停は、場所によっては子どもたちが雨に濡れている。見ていて忍びないが対策はできないか。また、中体連・遠足などにもスクールバスの有効活用はできないのか。

A 時間をかけて検証

教育長

この一年間で、中学校統廃合の検証をする。バスについては、中体連は認めているがその他は認めていない。



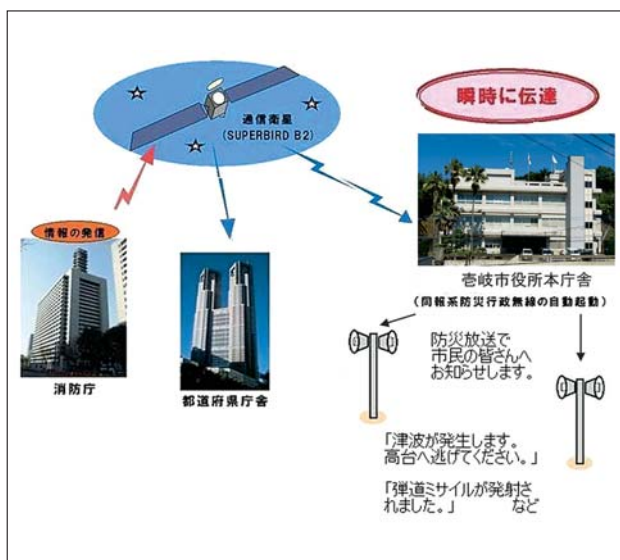
スクールバス運行の様子

鵜瀬 和博 議員



Q 地域防災計画の見直しを

地域情報通信基盤整備推進事業、消防救急無線のデジタル化整備に伴い、地域防災計画の再点検、見直しをすべき。
①平成22年6月の一般質問後の進捗状況は。
②火災現場や水源、避難



全国瞬時警報システムのしくみ

所など地理情報システムと連動した防災メールに。

- ③原子力防災対策を。
- ④自然災害対策強化を。
- ⑤避難場所再選定に地域審議会の活用と意見等反映を。
- ⑥地震による埋立地の液化調査並び対策を。
- ⑦公共・観光施設へフリースポットの早期設置と

- ⑧ケーブルテレビ等を活用した防災訓練の実施を。
- ⑨見直し後の防災計画の市民への周知方法は。
- ⑩近隣市との災害姉妹都市締結を。

A 防災計画を見直す

市長

- ①FM告知放送の活用など新システムと連動して迅速な情報伝達を図り、危機回避につなげたい。各職員の配置と任務を全職員に周知している。
- ②今後、研究する。
- ③EPZ拡大も含め関係自治体と連携を図り、九州電力に対して情報提供、説明責任を強く要望する。
- ④防災危険箇所、避難場所の見直しを本年度早期に行い、全国瞬時警報システム等により、迅速かつ確実な情報伝達を図る。
- ⑤海岸地域の自治会や小学校単位の意見集約を行い、反映する。
- ⑥国の方針等十分踏まえた上で対応を考えたい。
- ⑦各ターミナル、4庁舎、老岐文化ホールなどに設置するため9月議会に提案し、研究プロジェクトチームを設置する。
- ⑧11月13日に実施する。
- ⑨ケーブルテレビなど様々な方法で周知を図る。
- ⑩県、関係機関等と連携し、応援体制の強化を図る。

中村出征雄 議員



Q 特養ホーム建設の見直し

- ①特養ホーム建設は設計から見直しとなり完成はいつか。
- ②特養ホーム待機者と年間入所者数は。
- ③特養の分散と増床はどのような考えか。

A 再考中

市長

- ①今年の8月から9月に



精神科病棟 デイルーム

候補地を決定し、24年度当初着工、24年度内完成を目指す。

- ②入所待機者数は、6月14日現在55名、年間入居者数は22年度で33名。今年度は現時点では11名。
- ③建設力所数に関しては2カ所が適当と考えている。増床については23年度が介護保険事業計画の見直しであるので、そこで、増床を研究したい。

増床を研究したい。

Q 精神科病棟閉鎖

- ①精神科常勤医の確保に努力されると思うが、将来的な精神科病床の復活は。
- ②島内の透析患者は増加傾向で、島外での治療を余儀なくされており、精神科閉鎖に伴い透析病床の増加はできないか。

A 先ずは常勤医の確保

市長

- ①精神科病床の48床は療養型病床に転用したい。

残りの22床は精神科の医師招聘が出来次第復活したい。

②常勤医師の確保が無理であり、4階の精神科への透析病床増床は困難である。

Q かたばる病院の方向性

特養ホームを分散化するのであれば、かたばる病院を特養ホームに利用し、建設費の削減を。

A 結論を留保したい

市長

現時点で結論を申し上げることを差し控えさせていただきます。

Q 石田町自給肥料供給センター存続

石田町公民館連合会の館長等から存続要請が出されており、その対応は。

A 存続は出来ない

市長

原料確保の問題、原料受け入れ槽の改修、生ごみを破碎する前処理施設の建設に多額の費用を要するので、廃止の決定をした。

今西 菊乃 議員



Q 高齢者の災害時避難

①想定外の災害があると認識し、避難時持ち出し品の準備は必ず必要である。どこでどのような指導がなされているか。

②地域での避難援助が必要となる独居・老夫婦の高齢世帯の確認、避難方法は取れているのか。災害時要支援避難マニュアル



定期バス利用で通院

ルはどの様になっているか。避難訓練の必要は。

A 来年3月完成する

市長

①広報「いき」6月号や平成19年6月には「我が家の防災マニュアル」を全戸に配布済み。また、高齢者対象に市及び消防署員が防災対策等の説明会を実施している。

②現在、要支援者のリストは作成しているが、個人情報取扱いも含め今後、関係機関・団体と連携を図り、災害時要援護者支援マニュアルを来年3月末までに完成させた。また、避難訓練は、消防団、自治会など地域との連携が大事であり、支援マニュアルに組入りたい。

Q 高齢者の交通対策

定期バスの時間帯が高齢者に即しない地域もある。利用率の低い定期バスを減らし、福

祉バス・コミュニティバスの運行を。

A 運行する環境にない

市長

現在、高齢者の生活用品等買い出し支援として介護認定者には訪問介護サービス、介護認定外の65歳以上の方には軽度生活援助事業を提供、75歳以上の方には定期バスのワンコインサービスを実施している。今の状況では定期バスを減便してまで本市が単独でバスを運行する環境にはない。

Q 福祉活動で地域おこし

高齢社会となった今、自治会で福祉活動による地域おこしを行政指導のもとで行うべきでは。

A 地域と共に手をとりあつて

市長

地域力の低下を認識。生活弱者の把握のため福祉活動の取り組みの強化を図るよう自治公民館へお願いし、地域と行政が一体となって取り組む。

市山 繁 議員



Q 市民病院とのかたばる病院の方向性

性

①市民病院の役割と経営形態は市民の医療を守る重要な事。方向性を市長は決断すべき。

②市内に2つの病院経営



7月3日 消防団員の現地教養訓練

は無理。機能統合すべきでは。

③精神科医師の引き上げにより、70床が空室となる。かたばる病院の療養病床の48床を空室に有効利用されては。残りの20床は人工透析に活用できないか。また、精神科外来診療の継続は可能なのか。

A 見直しが必要

市長

①独立行政法人化を目指してきたが、理事長の派遣が絶望的な状況ではその方向性を見直さなければと考えている。

②2つの病院を運営するのは困難であるので、市民病院へ機能統合する必要がある。③精神科病棟を療養型病床48床に転院をする形でかた

ばる病院との機能統合を考えた場合、残り22床は精神科病床復活のための病床として確保する。精神科は派遣医で外来は看ることが出来る。

Q 消防団員の処遇

5月1日岐阜市消防団第3期結団式が行われたが、団員の定数及び報酬、出動手当等の改正はされなかったのか。

消防団の存在は地域住民にとって不可欠な存在。行方不明者の搜索等、危険な作業も多いが、出動手当が非常に少額である。見直す必要がある。

A 研究をしていく

市長

消防団員の定数等は、合併調整会議において調整された条例を基準に、平成16年3月1日より現在に至っている。出動手当は、年俸との関係もあるので研究をしていく。

町田 正一 議員



Q 島内医療機関の
受診状況

6千世帯、1万2千名
が加入する国保基金の減
少が、大きな問題となっ
ている。原因を知る上で
も具体的な数字をあげて
ほしい。

A 島外病院に頼らざ
るを得ない

市長

国保の医療費総額36億
の内島内診療が67%、そ
の中で市民病院は14%。
島外病院の受診率は件数
では10%であっても医療
費は33%になっている。
入院を含む高度な医療に
関しては島外病院を頼ら
ざるを得ない状況。

Q 市民病院改革の
方向性

公設民営しか方向性は
残されていない。

・医療法人の一般公募

・不採算部門の
維持

・病院の土地と
建物は吉岡市が

所有したまま経
営のみを指定管
理者に委託

・24時間365日、
いつでも救急患
者を受け入れる

患者本位の診療
などの項目を最
低限の条件で方

市民病院「改革の方向性は」

向性は打ち出すべき。

A 議会と歩みを共に

市長

民間に売却するよう
な事はしない。提示され
た条件は最低限だと考
える。早急に病院・職
員組合・議会との協
議に入りたい。

Q 看護師の給料表
改訂

改訂

看護師の給料表は20代

では夜勤手当もなく民間

よりはるかに低い。若い

看護師の応募者が少なく

定着しない。見直すべき。

また、特養ホーム等臨時

職員の報酬改訂はなされ

たのか。

A 組合と交渉中

市長

看護師については標準

職務表を見直すという事

で組合に提示している。

特養ホームの長期臨時

職員の報酬改定は、21年

度から介護職については

勤続年数に応じて2年経

過ごとにアップしている。

深見 義輝 議員



Q 将来的な行財政改革

平成22年3月に策定さ
れた「吉岡市行財政改革
実施計画（集中改革プラ
ン）」が、平成23年度まで
の市長の在任期間におけ
る取り組みで改訂された

A 財政健全化

市長

が、これまでの成果と最
終年度の取り組み、及び
今後の課題は。
①事務事業の整理合理化
②公共施設の適切な設置
運営
③組織機構の整備
④人事システムの確立
⑤補助金等の整備合理化
⑥今後の課題

Q 魅力ある島づくり

①豊かな自然環境を引き
出し、未だ表に出ない観
光スポットを調査し歴史
と自然をいかした観光の
ブランド化で観光立島に。
②豊かな農水産物を市が
認める推奨品としてブラ
ンド化し、消費者に認め
てもらうことで農水産業
の高揚を図っては。

A 吉岡ならではの

市長

①従来の枠にとらわれず
埋もれた地域資源を掘り
起こし、吉岡ならではの
魅力ある島づくりに取り
組む。

②吉岡のブランド化を目
指し、生産者の顔が見え
るシール作成や販売ルー
トを調査研究したい。



芦辺町女岳神社中腹にあるパワーストーン(特殊な力が宿る石)
吉岡名称図誌には「救い石稲荷」と記されている。

市山 和幸 議員



Q 市営住宅について

本市の実情に合った透明性のある選考基準であるのか。

- ①選考の方法、委員会の構成は。
- ②選考基準の見直しをすべき。
- ③現入居者の実態調査をすべき。



入居希望者の多い古城団地（郷ノ浦町田中触）

- ③市営住宅は現在787戸、入居は759戸、長期不在は10戸であるが、入院・出稼などである。
- ④悪質なケースは法的措置も視野に入れる。
- ⑤きちんと説明する。

- ④違法者に対しては法的な明け渡し措置を。
- ⑤落選者には丁寧な説明を。
- ⑥早急な住宅の改修や改築を。

A 見直しはしない

市長

- ①資格条件をクリアした人を対象に入居者選考委員会にて住宅困窮度に応じて判定。委員は各町3名の12名で構成。非公開である。
- ②単身者については原則不可であるが、60歳以上については選考の対象となる。見直しは考えていない。

Q 特養ホームの方向性

- ①施設は分散すべき。
- ②木造での設計に変更はないか。
- ③老岐市福祉施設検討委員会は新たに設置するか。

- ④老岐島民にとって最適な施設を建設するために時間をかけて十分に議論をすべき。

A 整備検討委員会での議論

市長

- ①2ヶ所に分散したい。
- ②基本的に木材利用の推進を図る。
- ③福祉施設整備検討委員会は存続しており、一部の委員の再任をする。
- ④鯨伏地区については委員会で議論し、新しい場所を白紙。増床・分散については平成23年度中に計画書策定。場所については多くの人の意見を聞いてのち決定する。

小金丸益明 議員



Q 学校施設の耐震化と小学校統廃合

学校施設の耐震診断結果については、公表が義務付けられているが履行されていない。また、事実に基づく説明責任を果たし市民の不安を払拭すべきではないか。特に学



「安心できる教育施設を」（芦辺小学校）

- 校現場への対応を急がれたい。
- ①耐震度が不足していると判断された施設に対する耐震化計画を示された。
- ②二十校中、十校の小学校で複式学級が存在し、老朽化施設も散見される。教育環境の面からも看過放置すべきでない。統廃合を見据えた効率的な耐震化事業を進めるべきであり、この機を好機と捉え、統廃合についても議論を始めるべき。

地域との連携指定場所とな

っている中学校の体育館等への対応と、他の公共施設の耐震診断の現状は。

- ③廃校となったとはいえ、地域の避難指定場所とな

A 一考に値する

市長

今回の耐震診断、震度7の地震を想定した診

断内容の公表等については私も教育長も鈍感であった。

小学校統廃合を検討しながら耐震化事業を進める事は貴重な意見であり一考に値する。

教育長

- ①危険性の高い小学校の建物7棟、中学校が同じく2棟。そして危険性のある小学校の建物12棟、中学校が2棟。この危険性の高いほうから平成27年度までに順次進めていく。
- ②小学校は中学校以上に地域文化の拠点であり、1年生から6年生までの発達段階に差があるため、中学校の統廃合と同列にはできないという考えがある。中学校の4校体制が始まり、この1年間は中学校の実情を検査等々しながら、あらゆる角度からの検証をするべきと思う。
- ③指定場所の3割が未検証である。今後、予算措置を講じながら診断や補修を行いたい。



あん質問な どえーんなった？

平成23年3月議会

現 状

質 問

国・県道への一支国博物館の案内看板の設置を。

答 弁

景観を損なわないように県と協議をする。

県道勝本石田線から市道鶴亀中央線交差点に設置済み。

島内観光における主要道路上の表示については、表示の方法や必要性を十分研究した上で関係機関と調整協議を図る。



芦辺港からすぐの案内板 「まだ案内が不足」



一支国博物館近くの県道路案内板
(田河小学校前)

平成23年3月議会

現 状

質 問

フェリーみしま郷ノ浦待合所の一部に畳スペースの設置改善を。

答 弁

国県の補助航路であり、協議の上、設置を考えたい。

現在、7月完成に向け準備を進めており、地元協議の結果、じゅうたん張りに変更。



フェリーみしま発着所待合室のゴロ寝スペース

7月13日臨時会報告

議案1 桜木団地公営住宅新築工事請負契約の締結 可決(全員一致)

契約金額 1億6,586万8千500円
 契約の相手 株式会社 なかはら
 工事場所 芦辺町箱崎大左右触
 工事内容 RC2階建て 1棟16戸
 (2DK12戸、3DK4戸)
 工期 契約日～平成24年3月22日

議案2 学校給食センター食器類、食管等及び厨房機器付属品購入契約の締結 可決(全員一致)

契約金額 4,777万5千円
 契約の相手 株式会社 アイホー長崎営業所
 購入物件
 ・食器類 3,700個 ・食缶 195個
 ・食器専用筆等 174個
 ・厨房機器付属品一式
 ・アレルギー室用備品一式

市民の声



議会だよりクイズの応募の中で、
お寄せいただいたご意見や
ご感想をご紹介します
コーナーです。



新しく入ってきたイ
ルカにはどんな名前がつ
いているんですか？ 12歳

◎新しいイルカの名は現在公募
中で、夏休みのはじめには決まり
ます。会いに行ってみてください。
前からいるイルカの名はルー、
シャングリア、パルフェです。

議会だよりは色使いが
上手でとても見やすかったです。
もうすぐ観光シーズン…。夏がやって
来ます。夏に向けて何か取り組んでいる
ことはありますか。15歳

◎筒城浜海水浴場では、観光協会の方で「海
の家」の他に今年から大型ビーチパラソルと
ビーチベッドの貸し出しを行います。また、
イルカパークでは「イルカと遊ぼう ふれあ
い体験」を再開します。その他、観光客
の方が快適な旅になるよう観光地
の清掃など行っています。

3歳未満の医療費が無
料になりましたが、子どもはよ
く休日や夜間になります。その時負
担する金額は800円ですが、今までは役
場に書類出せば返ってきていたんですか？
2歳

◎時間内・外診療にかかわらず、3歳未満医
療費無料化になる前から医療機関ごとに1
日上限800円（月上限1,600円）は自己
負担となっています。
（担当課：子ども家庭課
48-1111）

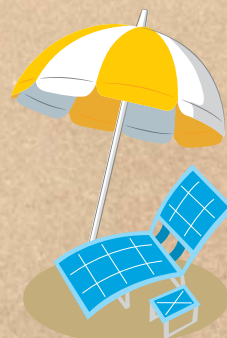
東北の地震、
原発、心が痛み
ます。佐賀の原発
の安全性が気にな
ります。74歳

杵岐にはシカが
300頭もいるのに一度
も見たことない!!
どこにいるのかなあ？ 6歳

◎勝本町の若宮島に
生息しています。

表紙がキレイです。
早く泳ぎたい！
学童を市で作ってくれない
の？ 7歳

◎現在杵岐市にある放課後児
童クラブ（学童）は、杵岐市から
委託されて実施されて
います。



芦辺町 清石浜

第10回 議会だよりクイズ

渡良保育所の
お友だち

かれんちゃん



まる!!

うららちゃん



パチパチ!!

ピース!!

ゆうくん



第9回クイズの答え

- ①たかのはら憩いの森公園 ②3頭
 ③300頭
 応募総数23人で全員が全問正解でした。
 ご応募ありがとうございました。

～ 第9回クイズの当選者 ～

國龍睦広様 渡野 栄様
 市山丈翔様 中村妙子様
 別府 空様 (順不同)
 おめでとうございます!

クイズに答えて

図書カード(1,000円)
 が当たります。皆さんの
 ご応募待ってま～す!!

クイズ 次の問題に答えよう

- その①** ぎ岐出身の方からの「ふるさと応援寄付金」として寄付をくださった方は何人でしょう?
- その②** 待望のへき地診療所が設置される事が決まりました。その診療所の名前は?
- その③** ぎ岐から30km以内にある原子力発電所の名前は?



ヒント この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後まで読んでみてください。

《応募方法》クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。
 議会だよりを読んだ感想や、議会へのご意見等もお書き添えください。
 ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。
 正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード 1,000 円分をお贈りします。

(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》〒 811-5521

ぎ岐市勝本町西戸触 182-5
 ぎ岐市議会事務局 宛

《しめきり》平成 23 年 8 月 31 日 (当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表および『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。



9月定例会は
 9月2日(金)
 開会の予定です。

議会広報特別委員会
 委員長 音嶋正吾
 副委員長 榊原 伸
 委員 中田恭一
 委員 鶴瀬和博
 委員 町田正一
 委員 呼子好

現広報委員はこの30号で最後となりますが、市民の皆様へ愛され支えられ2年間の務めを終えることができます。
 新体制となっても、引き続きご愛読いただきますよう、よろしくお願いいたします。
 (榊原 伸)

広報委員会でも先進地視察等を実施しその必要性を研究した結果、本会議の様子はテレビによって早く正確にお届けできますが、その他の議会の動向や各議員が重点的に取り組む内容等について、テレビではお伝えすることが出来ません。従って、今後も市民の皆様のお手元に市政運営の記録として「議会だより」をお届けし、行政への関心をお寄せいただくことで、共にぎ岐市発展のため歩んで行きたいと思えます。

議会広報委員会委員を受け持つて、早2年が過ぎようとしていますが、この8月には、議会常任委員会と共に新体制となります。
 6月定例会から、ケーブルテレビによる議会中継が始まった事により、広報誌「ぎ岐市議会だより」の必要性についていろんな意見が出されています。

編集後記

○編集 議会広報特別委員会

〒 811-5521

長崎県ぎ岐市勝本町西戸触 182-5

TEL : 0920-42-1111

FAX : 0920-42-0096

【E-mail】iki-gikai@city.iki.lg.jp

【URL】http://www.city.iki.nagasaki.jp

○公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・見舞い等の金品を送ることや、暑中見舞い・年賀状などの挨拶状や有料の広告は禁止されております。

市民みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

ぎ岐市議会議員一同

お知らせ

ぎ岐市ホームページ

(<http://www.city.iki.nagasaki.jp>) の市議会のインデックス(見出し)を検索すると、市長行政報告および議員の一般質問の音声を生で聞くことができます。また市議会会議録は、議会事務局・市役所本庁(総務課)・各庁舎(市民生活班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。